

障がいのある子どもたちの描いた絵を雑貨として商品化 社会との接点を生み出す活動を続ける COCORE (ここわ)

2013年、一冊の本から芽生えた想いから設立して以来、親や支援者が中心となり、子どもたちの「描きたい気持ち」を尊重した作品づくりを行っています。

商品はTシャツやバッグ、文具など多岐にわたり、企業とのコラボや店舗での販売も展開しています。



売上は、描いた本人への還元と活動の継続に使われています。

cocoreの魅力は、雑貨を「かわいいから手に取る」という自然な入り口を大切にする姿勢。その結果、雑貨を通じてポジティブに子どもたちの個性や成長が伝わり、共感の輪が広がっています。

現在は17名のメンバーがゆるやかにつながりながら、無理なく、しかし確かな熱量で活動を続けています。

